

ンテナンスを持続するのはデジタルデータを取集し利用する方向に行くべきで、その意味でもレゾーを利用した技術は有効だ」とした。

作成コンセプトや腐食のび割れの再現性（隅角部・中間部）、損傷レベルを制御した供試体などに
また、腐食膨張のモデル化のために太平洋マテ
落とせる浮き・剥離と叩た。
リアルルの静的破砕剤、太き落とせないものとして「
太平洋ライスター」を使、の連う供試体の製作
用していることや、叩き成功したことが明かされた。